

令和5年度第2回湘南大庭の未来を考える会議議事録

日時 2023年(令和5年)8月29日(火)午後2時30分から4時25分

場所 湘南大庭市民センター 第1談話室

参加者 佐野会長他17人(詳細は出席者一覧のとおり)

1 開会

會澤課長補佐による司会で開会し、6月の神奈川県庁の人事異動により新たに委員となった広岡委員(神奈川県住宅計画課)及び木田委員(神奈川県公共住宅課)から挨拶があった。その後、佐野会長が議長として会議を進行した。

2 タウンミーティングの実施結果について

7月15日に実施した、湘南大庭の未来を考えるタウンミーティングについて、寄せられた意見内容やアンケート結果を含めた実施内容について、結果報告書(資料1)を用いて大矢主任から説明した。

(意見等)

中村委員：第2部のグループワークでいろんな意見が出てよかった。若者を呼び込むべきという意見もあれば、少数かもしれないが若者を呼ぶと不協和音が生じるのではないかという意見もあったのが印象的だった。もっと多くの方に参加してもらえるとよかった。

佐野会長：これからどう暮らしていくかということも含めて、新しい意見がいろいろな年代の人から集まった。

實方副会長：第1部については、委員から説明をしてもらえてよかったと思う。アンケートの結果からも、参加者の気づきにつなげられたといえる。活性化協議会で検討してきた内容は、地域住民が感じていることと近いということを確認できたのではないか。使用した資料はタウンミーティング限りではなく、今後地域の中で魅力・課題等を紹介するときに活用することができる。例えば、活性化協議会等が地区内の子どもたちに地域のことを教える機会等があると、これからの広がりにつながると思う。グループワークの中では大庭城址公園についての意見が多かったので、終了後に大庭城址に行ってみた。ベビーカーや車いすを押しながら行くことは難しそうだが、上がった先の広場はいい場所だと感じた。全国のニュータウンの中でも、城址のように歴史がある場所はなかなかないので、特徴的だと思う。実験的に何か取組を行うにあたり、地域からも理解されやすい場所であると考えられる。グループワークで夢のある意見と現実的な意見の両方が出たのは、議論が健全だったからだと思う。今回感じることができた、地域のオープンな雰囲気や大庭を大事にしていけるとよい。

佐野会長：先日、二番構公園でイベントを行っており、参加者で賑わっていた。大庭城址公園でも、イベントを行って活性化できるとよい。

中村委員：大庭城址公園の活用については、郷土づくり推進会議でも議論しており、シンポジウムを、市の関係部署や住民等を集めて実施しようと思っている。その他、小学生を対象に郷土教育を実施したり、けやき通りの距離表示板をリニューアルすることも計画している。

佐野会長：これから大庭城址公園について発信できるとよい。

中村委員：先日、大庭城址に関する映像の上映会を実施し、参加者に呼び掛けたところ、“友の会”として20人の登録があった。

杉渕アドバイザー：タウンミーティングの初回開催としては、よい結果だった。参加者は少なかったが、わかりやすく伝えられたと思う。展示物や模型も興味を引くものだった。参加者も性別や年代がうまく分散していて、多様な意見が出たので、これをうまく活かして検討を進められれば。大庭城址公園は、引地川親水公園との結びつきも考えながら、湘南大庭だけではなく藤沢市の新しいシンボルとしてもよいと思う。遠藤地区の慶応大学とも連携するなど、歴史を踏まえつつ将来を考えて進められればよい。

佐野会長：大庭城址公園については、市の別の部署も関係してくるので、うまく調整・連携して進めていきたい。

3 湘南大庭地区（湘南ライフタウン）活性化指針（仮）たたき台第4章の内容について

指針（仮）第4章について、湘南大庭地域活性化協議会で検討した内容案（資料2-1）を道上委員から、第4章の構成についての内容（資料2-2）を大矢主任から説明した。

（意見等）

道上委員：昨年度の会議で出された指針（仮）の目次案では、第4章は“取組項目”となっていたのに、いつの間にか“取組方針”となっていた。この点について、事務局から説明がなかったのが残念。活性化協議会では今まで章ごとに内容を検討し、全体のつながりを整理する機会がなかった。また、検討した内容を振り返ると“子育て”に関する項目が少ないので、この点も含め、9月から11月まで全体を見直ししたいと考えている。

佐野会長：昨年度実施したアンケートでも、子育てに関する項目があったので、クロス分析の結果等から見えてくるものもあるかもしれない。

道上委員：“取組項目”が“取組方針”になることについて、事前に話がほしかった。“取組項目”が“取組方針”になると、どういう内容をイメージすればよいのか。

事務局：事前に説明ができなかったことについて、申し訳なかった。指針（仮）を策定し、今回いただいている活性化協議会が作成した資料2-1の内容を目指すうえで、分野別に整理し、章立てをして方向性を示すような内容が取組方針となる。指針（仮）を策定してから、具体的にどのようなことをやるかを検討する際に、資料2-1の内容につながっていくことに

なる。ただ、あくまで今回は、そこにたどり着く前のそれぞれの方向性を整理するために、第4章の内容があるというイメージとなる。

道上委員：その内容が、活性化協議会としては理解できていなかった。ここでしっかり共有しておく必要がある。どの形でまとめていけばいいのかがわからない。

事務局：活性化協議会で検討していただくにあたっては、やってみたいこと・やりたいことなどの具体的な内容のほうが話をしてもらいやすいと思う。整理いただいた資料2-1の内容について、事務局で抽象的、指針的なイメージの言葉で内容を整理するというのを第4章で行いたい。したがって、活性化協議会として検討してもらうのは、資料2-1の形で支障ない。

道上委員：今後の全体の見直しで、足りないところを加えることはできるということではよいか。

事務局：資料2-1の内容から足りなかった部分を付け加えてもらうのであれば、その箇所について事務局で庁内の関係部署と調整し、指針的な内容に整理させていただく。

佐野会長：活性化協議会で考えてもらった内容は、取組方針に向けた取組項目であるといったほうが正しい。資料2-2でいうと、一番左の活性化協議会の内容案は、真ん中の、将来像に基づく取組方針につなげるための取組項目であるということ。

事務局：会長のおっしゃるとおり。

佐野会長：コラムの文章・写真も含め、指針（仮）第3章で提示した内容と第4章の内容は整合性が取れなくてはいけないので、見直すことは必要。事務局や我々、活性化協議会と調整して進めなければならない。

道上委員：現状、将来像から取組方針につなげるにあたり、第2章の魅力・課題の内容がうまく取り込めていないなど、つながりがうまくいっていないように感じる。狭山ニュータウンで策定されている指針では、将来像と取組内容の間に“将来像実現のための基本的な視点”というものがあり、間にワンクッションが入ってわかりやすくなっているの、第3章と第4章の間にこれを取り入れてもよいか。

事務局：そのほうがやりやすいということであれば、取り入れてもらってよい。これからのスケジュールの問題もあるので、活性化協議会で議論した内容を、随時事務局のほうに教えていただきたい。

佐野会長：基本的な視点を入れるかどうかなども含め、湘南大庭としてどういう方向を目指すのか、というところは齟齬がないようにしなければならない。新しいものに流されすぎず、これまで決めてきた指針（仮）の方向性から変わらないように気を付けて検討いただきたい。

實方副会長：難しい検討をしようとしている。住民にとって大事だが内容として入れづらい項目などがあれば、無理に組み込むのではなく、適宜市に相談

したり、アイデアを出してもらったりしたほうがよい。

杉渕アドバイザー：指針（仮）の中で考え方を示すために、“取組方針”としており、それを踏まえた具体的な内容が、活性化協議会で考えてもらった“取組項目”となる。今後市の関係する部署と調整して内容を考える必要がある。事務局と活性化協議会で意見交換しながら連携して進めなければならない。取組方針の内容としては、「～の推進」や「～の活用」といったものになる。

中村委員：市と活性化協議会でよく打合せをしてすり合わせをする必要がある。

事務局：第3章と第4章のつながりが持てないかもしれないという点については、これまでいただいた意見等を盛り込めるよう、第3章の将来像の内容にキーワードを散りばめて落とし込んで作成している。ただ、それでもつながらない部分等があれば、こちらに相談していただければ調整することができる。

道上委員：これまで個別具体的な色々な意見も出ているので、なかなかキーワードだけでは表現し切れないこともある。ただ、もう一度活性化協議会で洗い出しをして、まとめてもらうのは事務局にお願いしたい。

佐野会長：活性化協議会で考えてもらった具体的な項目が消えるわけではなく、それをベースにしてまとめ、集約したものが指針（仮）という形になる。

森谷委員：資料2-2はわかりにくいと思うが、これは住民に公開されるものなのか。

事務局：あくまで本会議用の資料であり、広く住民に配布すること等はない。

4 その他

事務局から、昨年度第4回の会議で提示した、令和5年度のスケジュールについて修正があったため、資料3に基づいて説明した。また、次回会議日程について、11月17日（金）午後の開催を予定しており、詳細な日時は改めて連絡することとなった。

（意見等）

佐野会長：指針（仮）たたき台の作成に向けて、これからタイトなスケジュールとなる。困ったことなど、必要があれば、事務局や私、杉渕アドバイザーも同席して相談・打合せ等してもらってよい。

中村委員：指針（仮）が策定されたら、HPで公開されるのか。

事務局：公開される。

中村委員：以前会議で提示されている目次の中で、第5章の内容となる活性化の主体と役割や推進体制については、現状としてどのような内容を考えているのか。

事務局：第4章で出てきた方向性に基づき、住民や行政等、各主体の役割を明確にし、今後どのように取り組むのかという内容を整理することとなる。

中村委員：イメージ的に、地域主体で推進するのか、市主体で推進するのか。

- 事務局：項目によって主体は変わり、行政がすべて役割を担うものでもない。行政としては、ハード面で新たに整備を行うというよりは、現在の都市基盤をどう活かしていくかという視点になる。その中で、住民が行うこともありながら、行政もサポートできることを行うというイメージである。指針（仮）は、地域も市も共通して目指すものである。
- 佐野会長：湘南大庭の活性化に向けたこの取組は、市内のモデルとなる。関連部署等との調整も重要なポイントになる。
- 事務局：地域住民の言葉ですべて作るものであれば、市が提言を受け、その中で行政ができるものを行うというやり方もある。ただ、今回は住民も行政も一緒に作りあげるという形のため、主体がどちらかというよりは、お互い同じ方向を向くための指針（仮）となる。
- 中村委員：公園の使い方について、湘南大庭で先進的な提案をして受け止めてもらうことはできるのか。
- 事務局：提案内容が100%実現されるとは限らないが、少なくとも、市の公園管理の部署に、住民からこういう意見が出ているという話をすることはできる。
- 中村委員：例えば、団地再生で、特定の団地について、住民を巻き込んで提案をすることも可能か。
- 事務局：特定の団地というのは、県営住宅や住宅供給公社等の賃貸の団地ということか。
- 中村委員：そうである。
- 事務局：賃貸の団地ということであれば、指針（仮）の策定後の段階で、住宅政策課としても今後の話をする機会が必要であるとは考えている。
- 神木委員：地区南部の県営大庭団地について、建替え後に新規の入居募集をしないと聞いたが、本当か。
- 木田委員：建替えは別のグループが担当しており詳細は分からないが、通常は、建替え前に住んでいた方が移転し、空き住戸があれば新規入居者を募集することになる。
- 神木委員：テレビで、茅ヶ崎市で乳製品の地産地消を行っているというニュースを見た。テレビ放映の効果は大きいと思うので、そういう発信ができればよいと思う。
- 事務局：内容としては、指針（仮）の将来像でいう“ブランディング”や“発信”に関わる部分となる。今からできることがあればもちろんだが、指針（仮）を策定した後に検討していければと思う。
- 佐野会長：メディアに取り上げられることを目的に取り組むと失敗するので、着実に進めることが大切である。

5 閉会

6 まとめ

議題1 タウンミーティングの実施結果について

【確認・検討事項】

- ・タウンミーティングで出た意見を、指針(仮)の作成に活かして検討を進める。

議題2 湘南大庭地区(湘南ライフタウン)活性化指針(仮)たたき台第4章の内容について

【決定事項】

- ・次回会議までに、庁内の関係部署と調整しながら、資料2-1の内容を、資料2-2のように構成し、取組方針の内容を作成する。
- ・9~11月で、活性化協議会では指針(仮)全体の見直しを行う。

【確認・検討事項】

- ・指針(仮)全体の見直しを行うにあたり、市と活性化協議会で適宜連携しながら進める。

以 上

R5第2回湘南大庭の未来を考える会議 出席者一覧

	分類	所属・役職等	氏名
1	地域住民	湘南大庭地域活性化協議会 委員	神木 紀
2		〃	松下 晴彦
3		〃	道上 久恵
4		〃	中村 亮一
5	民間事業者	有限会社マルモ 取締役	森谷 健一
6	関係機関	神奈川県住宅供給公社 賃貸事業部 運営企画課 副主幹	茶屋道 京佑
7	学識経験者	公益社団法人 神奈川県地方自治研究センター 理事長	佐野 充
8		株式会社 都市環境研究所 計画グループ 主任研究員	實方 理佐
9	神奈川県職員	神奈川県県土整備局 建築住宅部 住宅計画課 住宅企画グループ グループリーダー	広岡 まり
10		神奈川県県土整備局 建築住宅部 公共住宅課 住宅管理グループ グループリーダー	木田 敦嗣
11		藤沢市 湘南大庭市民センター	矢内 健

事務局

1	藤沢市職員	藤沢市 住宅政策課	會澤 貴浩
2			大矢 秀宣
3			近藤 みゆき
4		藤沢市 都市計画課	堀田 典久
5			與安 裕之
6			菅谷 和彦
7	アドバイザー	藤沢市 湘南大庭市民センター	杉渕 武